



エコアクション21
認証・登録番号 0000098

有限
会社

中央電機商会

環境活動レポート 2009年度版

(2009年3月1日～2010年2月28日) 作成日:2010年4月1日

- 目 次 -

- § 1. 環境理念と環境方針
- § 2. 実績及び現状
- § 3. 今年度以降の目標
- § 4. 環境推進体制(組織図)
- § 5. 主な活動計画の内容
- § 6. 環境関連法規への違反、訴訟の有無
- § 7. 事業の概要

§ 1. 環境理念と環境方針

有限会社中央電機商会は、環境保全が永続的に取り組むべき経営課題と認識し、下記の環境理念および環境方針を制定いたします。

■環境理念■

私たち有限会社中央電機商会は、社員1人ひとりがそれぞれの職場において、提供するサービス、販売する商品、および購入する資材など、常に環境を優先的に意識した業務を行うよう努めます。

■環境方針■

1. 法規制の遵守
環境汚染を防止する法規制を遵守するとともに、環境負荷を削減するための自主目標を設定し、その達成に向けた取り組みを行います。
2. 環境負荷の削減
サービス・販売・営業など、当社の事業活動の全ての場面において、エネルギーの消費を少なくするとともに、廃棄物を極力抑え、または廃棄物の適正処理を行い、環境負荷の削減を推進します。
3. グリーン購入の推進
資材、機器、備品および用品などのグリーン購入を推進します。
4. 社会貢献
環境保全活動について行政、地域との積極的な情報交換、情報開示を行い、社会貢献に努めます。
5. 環境管理体制の確立
社内における環境管理体制を整備し、環境保全に対するチェック体制を確立します。

2010年4月1日
有限会社 中央電機商会
代表取締役 高浦孝好

§2. 実績及び現状

二酸化炭素排出量、廃棄物排出量、水使用量及び排出量の現状

当社が先に掲げた2008年度削減目標に対して、2008年度の実績排出量を比較いたします。

「二酸化炭素排出量」、「廃棄物排出量」、「水使用量及び排出量」の実績は以下の通りです。

2008年度の目標設定値は、社有車の燃費を除く各項目について前年比2%減 (-2%) を目標としました。

なお、二酸化炭素排出量に影響する社有車燃費も参考として記載いたします。

有限会社 中央電機商会 前橋本社及び第2工場の実績

| | 07年実績 | 08年目標 | 08年実績 | 対前年比 ()内は目標値 | 評価と原因分析 (達成○ 問題内在△ 未達×) |
|--------------------------------|-----------|------------|-----------|-----------------------|---|
| 二酸化炭素排出量 (kg-CO2) | 119,656.0 | 117,262.90 | 82,083.00 | -32.4% (-2.0%) | ○ 改装によるイレギュラーな廃棄物も無く、リサイクル推進により焼却量が減少した。 |
| 廃棄物排出量 (トン) | 59.50 | 58.30 | 28.37 | -13.5% (-2.0%) | ○ ダンボール等の古紙リサイクルに取り組み一般廃棄物の総量が減少した。 |
| 水使用量及び 排出量(m ³) | 334.00 | 327.30 | 322.00 | -3.7% (-2.0%) | ○ 車検入庫増により洗車用の使用量が増加したが1台あたりの使用水量を圧縮出来た。 |
| 社有車燃費 (km/ℓ) | 10.70 | 10.90 | 12.45 | 13.7% (2.0%) | ○ 軽自動車乗替え促進で改善するも頭打ち。来期はエコドライブ月間等の取組みを予定。 |

2008年度を振り返って -総括-

2007年度に引き続き、2008年度も経済状況は依然厳しく仕事量、売上の減少に歯止めがかかりませんでした。

特に新車の販売台数が年間500万台を下回るなど、自動車業界全体の不景気によるところが大きいです。

新車に関連する業務の拡大には今後も期待は出来ないため、今期は保有ベースがメイン市場となる整備、修理部門での拡大に力点を置く施策を打ちました。

年間を通じてのキャンペーンとしては、車検キャンペーンを実施し各社員一人一人が車検の獲得に取り組みました。

物販部門では環境貢献商品としてデジタルタコグラフ、ドライブレコーダーなどは景気の影響で伸び悩みました。

しかしながら、携帯電話のハンズフリーキット(Bluetooth)や後方視認カメラ(バックアイカメラ)など、事故防止、コンプライアンスに関連した商品の販売実績が上がってきたことは今期の特徴と言え、来期にも期待したいと思います。

常に「環境」をキーワードにお客様の経費削減を目標に事業展開を行ってきましたが、「安全、安心」の観点からもお客様に貢献出来た事は大きな成果として評価出来る1年でした。

2008年度実績の評価について

二酸化炭素排出量については、社有車燃費改善の頭打ちは見えたものの、廃棄物のうちダンボール等の古紙リサイクル推進により単純焼却量の減量により目標値の達成に至ることが出来ました。

廃棄物の処理量については、一般廃棄物の減量は達成しましたが、まだ改善の余地が見える金属くず、廃プラ、廃バッテリー、廃油等の産業廃棄物の品目でも出来る限りの再資源化を図る為、より一層の分別の徹底に努めます。その他、コピー用紙の使用量や、電気・ガス・灯油などの化石燃料使用量も減少傾向に減速感が現れてきたので、来期は社員全員のコスト意識、原価管理への意識改善が必要と思われます。

水の使用量については、洗車に占める割合が大きい為、洗車時の無駄に注意するよう指導致しました。

また、以前に導入設置した止水栓の点検により若干の水漏れを検知し、止水栓の増締めを行い無駄な漏水を防ぐことが出来ました。

なお、車両1台当りの水使用量を定期的に把握することは困難ですが、洗車時の節水意識を高めることで水使用量を抑えることが出来たと評価しています。

社有車燃費については、全体的に燃費改善率の頭打ちが見える結果となりました。

来期はエコドライブ月間を設けるなど、各人の更なる燃費改善意識の向上を図るよう対策致します。

また、今後は車両入れ替えの際はハイブリッド車等の導入も積極的に検討していきます。

§3. 今年度以降の目標

二酸化炭素排出量、廃棄物排出量、水使用量及び排出量の削減

各々、前年比-2.0%を目標とします。

なお、これまでの取り組みに頭打ち感のある項目については様々なアイデアを用いて各項目が目標達成出来る様取り組んで参ります。

二酸化炭素排出量

燃費、廃棄物の削減に重点を置き個々に対策を立てる。

廃棄物排出量

ダンボールの分別回収の他、古紙回収などの更なる分別を行い減量に努める。

水使用量および排出量

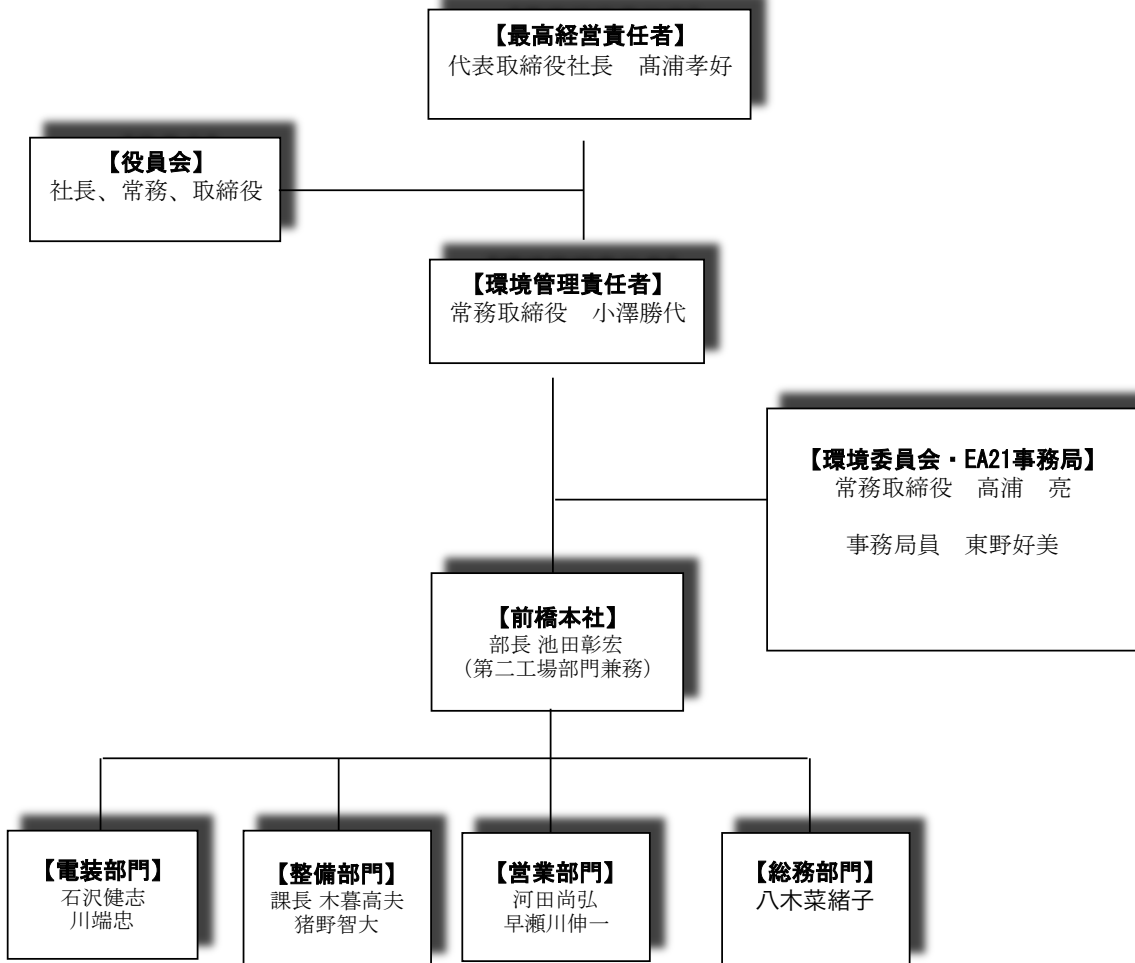
洗車効率の更なる向上を検討するなど、現状に甘んじない方策をたてる。

有限会社 中央電機商会 前橋本社及び第2工場の目標

| | 08年実績 | 09年目標 | 対前年比 | 取り組むべき課題 |
|--------------------------------|-----------|-----------|--------------|---|
| 二酸化炭素排出量 (kg-CO2) | 82,083.00 | 80,440.00 | -2.0% | 減速傾向の見えてきたCO2排出量の減量に向けて再度あらゆる因果関係の見直しと対策に取り組む。 |
| 廃棄物排出量 (トン) | 28.37 | 27.80 | -2.0% | 管理体制の強化と意識改革により、更なる分別の徹底を図る。再資源化品目、再資源総量を増やし、廃棄物の減量を促進する。 |
| 水使用量及び 排出量(m ³) | 322.00 | 315.56 | -2.0% | 最も消費量の多い洗車業務における効率化を再度検討する。常に業務内容を検証し1台あたりの使用水量を圧縮する。 |
| 社有車燃費 (km/ℓ) | 12.45 | 12.70 | 2.0% | 意識、意欲の低下を防ぐ為にエコドライブ月間等のチャレンジ企画で各人の環境意識の向上及び継続的啓発に努める。 |

§4. 環境推進体制

2008年度の推進体制について



§5. 主な活動計画の内容

2008年度の活動内容について

| 大項目 | 小項目 | 2008年 | | | | | | | | | | | | 2009年 | |
|--------------|---|---|---|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|-------|--|
| | | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | | |
| | | 上期 | | | | | | 下期 | | | | | | | |
| 二酸化炭素排出量の削減 | 昼休み消灯の徹底(工場・事務所) | → | | | | | | | | | | | | | |
| | 冷暖房の温度管理 | → | | | → | | | | | | → | | | | |
| | 保温肌着の着用推進 | → | | | | | | | | | | | | | |
| | ガソリン・軽油の削減 | → | | | | | | | | | | | | | |
| 廃棄物排出量の削減 | 廃棄物分類の徹底 | → | | | | | | | | | | | | | |
| | 裏紙の使用推進 | → | | | | | | | | | | | | | |
| | リサイクルパーツ使用推進 | → | | | | | | | | | | | | | |
| 水使用量及び排出量の削減 | 洗車場における節水 | → | | | | | | | | | | | | | |
| | 止水栓の点検(増し締め、緩みの点検) | → | | | | | | → | | | | | | | |
| | 洗い場、トイレにおける節水 | → | | | | | | | | | | | | | |
| 公害防止への取組 | フロンガスの的確な取扱い | → | | | | | | | | | | | | | |
| | バッテリーの的確な取扱い | → | | | | | | | | | | | | | |
| | オイル類の的確な取扱い | → | | | | | | | | | | | | | |
| その他の取組 | グリーン購入への取組 | → | | | | | | | | | | | | | |
| | 地域・社会貢献活動の推進 | → | | | | | | → | | | | | | | |
| | 環境関連商品の積極販売 | → | | | | | | | | | | | | | |
| 活動実績報告 | 【2008年度総括】 環境関連商品の需要の伸び悩みが続く状況なかで、安全、安心、コンプライアンスの関連商品のニーズの高まりが見られたのが今期の大きな特徴。顧客指向に立った取り組みを再検討。 | 【上期の取組と反省】 ダンボール回収が始まり廃棄物総量減量と併せてCO2排出量削減を達成。 水使用量の適正化の為に止水栓の点検を行ったが、上期の最終日(8月)に行った為止水栓の緩みに気づく事が遅れてしまった。以後は漏水撲滅の為、点検の間隔を短縮した。 | 【下期の取組と反省】 地域清掃、草刈等の社会貢献活動は9月の1回にとどまってしまった。来期は年間を通して行うよう取り組む事とする。 ドライブレコーダーの商談が増えるが契約までに至らない。景気か商品か因果関係は未解だが新たな商材への今後の期待は大きい。 | | | | | | | | | | | | |

§6. 環境関連法規への違反、訴訟の有無

環境関連事項について、違反または関係機関、ステークホルダーからの指摘はありませんでした。また、近隣住民からの苦情及び訴訟等もありませんでした。

§7. 事業の概要

- (1) 事業者名及び代表者名 : 有限会社中央電機商会 代表取締役 高浦孝好
- (2) 所在地(本社) : 群馬県前橋市石倉町5丁目14-14
- (3) 環境保全関係の責任者 : 環境管理責任者: 常務取締役 小澤 勝代
: 責任者(事務局長): 常務取締役 高浦 亮
連絡先 TEL: 027-251-7151 FAX: 027-252-2222
- (4) 事業の内容 : 自動車電装品整備業、自動車一般整備業、情報家電機器小売業
- (5) 従業員数 : 全社 51名 内前橋本社 27名(内役員 4名 2009年2月現在)

以上